

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課情報係
(☎ 611-2724)



開会式で堂々とする不來方高校野球部の選手たち

部員10人の不來方高校野球部が 秋季高校野球東北大会で活躍！

不來方高校野球部が、山形県で開催された第69回秋季東北地区高等学校野球大会に岩手第2代表として初出場しました。

他の出場校の半数となる選手10人で臨んだ同部の初戦は八戸学院光星高校との対戦。序盤に失点したものの、強豪校相手に一歩も引かずに堂々とした戦いを繰り広げ、観客も選手たちの全力プレーに大きな声援と拍手を送っていました。結果は0対2で惜しくも敗れましたが、選手たちはこの経験を糧に、さらなる飛躍を誓っていました。



エースで4番の小比類巻圭汰主将を中心にチーム一丸となって強豪校に立ち向かいました

真っ赤に色づいたリンゴを収穫しました
(10月17日)



やはば一くで開催されたハロウィン・パーティーに参加しました(10月15日)

町との友好都市締結25周年を記念して、アメリカ合衆国ミシガン州フリモント町の訪問団が来町し、10月14日から17日まで交流を深めました。今回のメンバーは、中学生の時に訪問団として来町したことがある20代の男女7人で、前回の訪問時のホストファミリーらとの再会を喜び合いました。

一行は滞在中、町内外を巡ってそば打ちや茶道などを体験して日本の伝統文化への理解を深めたほか、川村光朗前町長のリンゴ畑でリンゴ狩りを体験。真っ赤なリンゴを収穫し、秋の恵みを味わっていました。

友好都市締結25周年を記念し フリモントから7人が来町



認知症の人への支援方法を確認

10月1日、「SOSネットワーク模擬訓練(矢巾町地域包括支援センター主催)」が新田公民館で開催され25人が参加。認知症の高齢者に声を掛け、交番に誘導する手順を確認し、認知症の人を支援することの大切さを学びました。



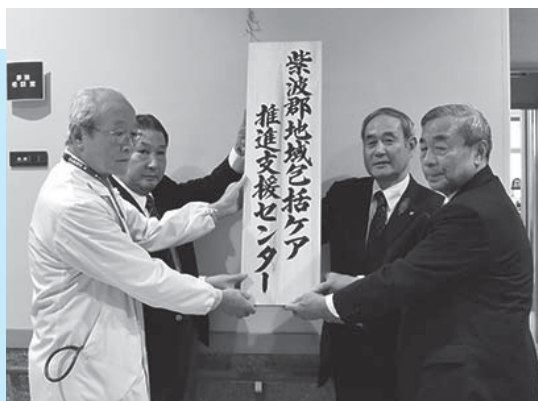
ピヨピヨキャラバン隊が訪問

9月30日、ふどうこども園(田口和子園長)年長児23人による「ピヨピヨキャラバン隊」が役場や紫波警察署などを訪問。元気いっぱいの大きな声で交通安全を呼びかけ、手作りの交通安全のお守りを手渡しました。



長年の人権啓発活動に大臣表彰

人権擁護委員としての長年の活動が認められ、細川榮子さん(岩清水、69歳)が法務大臣表彰を受賞。細川さんは「身が引き締まる思い」と感謝し「今後も相手の立場で物事を考え、地域に尽力したい」と決意を新たにしていました。



看板を掲げる(左から)ケアセンター南昌の吉岡尚文センター長、紫波郡医師会の木村宗孝会長、熊谷泉紫波町長、高橋昌造町長

在宅医療と介護の連携を支援 地域包括ケア推進支援センター

矢巾町と紫波町では、在宅医療と介護の一体的な提供に向けて、10月1日に「紫波郡地域包括ケア推進支援センター」を開設しました。17日にケアセンター南昌で行われた事務所の看板上掲式には、両町の医療機関や介護事業所の関係者が出席し、連携を確認しました。

今後、同センターでは、在宅療養者への支援体制の構築や多職種連携についての研修会の開催、相談支援など、医療機関と介護事業所が連携した地域包括ケアシステムの構築を支援します。



水辺の里にある賢治の歌碑でガイドの説明に耳を傾ける参加者

南昌山麓の自然を満喫 賢治の思い出に触れた散策会

宮沢賢治と親友藤原健次郎(白沢出身)の思い出の場所を巡る「宮沢賢治が愛した南昌山麓散策会」(矢巾町、矢巾町観光協会主催)が10月22日に開催されました。

散策会には18人が参加。観光ボランティアと「矢巾町宮沢賢治を語る会」会員の案内で、南昌山周辺に設置された賢治の作品を紹介する案内板や歌碑を見学したほか、幣懸の滝などを巡りました。参加者は、南昌山麓の自然を満喫するとともに、賢治と健次郎の思い出に触れ、賢治の作品の魅力を再確認していました。